



平成21年4月24日

各 位

会 社 名 シンフォニア テクノロジー株式会社
代表者名 取締役社長 安井 強
(コード番号 6507 東証 第一部)
問合せ先 総務人事部 法務・広報グループ長
小島 茂
(TEL 03-5473-1800)

貸倒引当金繰入額、たな卸資産評価損、投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ

当社及び当社グループにおいて、平成21年3月期に特別損失等を計上いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 取引先の会社更生手続開始に伴う損失の計上について

当社及び当社連結子会社の取引先であるアシスト テクノロジーズ ジャパン株式会社が平成21年4月20日付けで東京地方裁判所に会社更生手続開始の申立てを行ったことに伴い、以下のとおり、当社及び当社連結子会社の同社に対する債権(売掛金、受取手形等)について貸倒引当金繰入額を特別損失に計上し、また同社からの受注に対応するたな卸資産(仕掛品等)について評価減を行い売上原価に計上いたします。

(1) 当該取引先の概要

商 号 アシスト テクノロジーズ ジャパン株式会社
(旧社名アシスト シンコー株式会社)

所 在 地 東京都港区港南一丁目6番31号

代表者の氏名 代表取締役 山下 哲夫

資 本 金 495 百万円

事 業 の 内 容 半導体ウェーハ及び液晶ガラス基板搬送システムの製造・販売

(2) 業績に与える影響

当該事象により、平成21年3月期において、当該債権に対する取立不能見込額を貸倒引当金繰入額として特別損失(連結937百万円、個別631百万円)に計上し、たな卸資産について評価減を行い売上原価(連結178百万円、個別125百万円)に計上いたします。

2. 投資有価証券評価損の計上について

当社及び当社グループが保有する「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価又は実質価額が著しく下落したものについて、平成 21 年 3 月期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上いたします。

	連 結	個 別
平成 2 1 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額	2,727 百万円	2,637 百万円
(ご参考) 直前四半期(平成 2 1 年 3 月期第 3 四半期)累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで) の投資有価証券評価損の総額	2,262 百万円	2,261 百万円

四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
当社の決算期末は、3 月 31 日であります。

3. 今後の見通し

平成 21 年 3 月期の業績予想修正につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上